

1. 件名：東京電力福島第一原子力発電所の事故分析に関する面談

2. 日時：令和3年7月28日（水）10時00分～10時30分

3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

長官官房総務課 国際室

安井原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、星上席技術研究調査官、佐藤（匡）室長補佐、木原室長補佐

東京電力ホールディングス株式会社

福島第一廃炉推進カンパニー 石川理事

福島第一原子力発電所燃料デブリ取り出しプログラム部

担当者 2名（テレビ会議システムによる出席）

福島第一廃炉推進カンパニー プロジェクトマネジメント室

担当者 1名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○令和3年7月8日に実施した東京電力福島第一原子力発電所における事故の分析に係る検討会（第21回会合）における原子炉格納容器内での可燃性ガスの発生の可能性に係る議論を踏まえて、原子力規制庁から、東京電力福島第一原子力発電所2号機の原子炉格納容器貫通部等に関する東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）のこれまでの調査状況等を確認した。

○東京電力から、2号機原子炉格納容器内部調査時のケーブル貫通部の調査概要などについて説明があり、当時の調査結果などを整理する旨回答があった。

6. 資料

なし

以上